

*Program and Abstracts
of
The 48th Annual Meeting of the Japanese Society for Medical Mycology
Yokohama, September 25–26, 2004*

第 48 回
日 本 医 真 菌 学 会 総 会
プログラム・抄録集

総会事務局
Conference Secretariat

総会前：昭和大学藤が丘病院皮膚科

Department of Dermatology, Showa University Fujigaoka Hospital

〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30

1-30 Fujigaoka, Aoba-ku, Yokohama, 227-8501, JAPAN

TEL & FAX 045-972-1590

E-mail: jsmm1@showa-university-fujigaoka.gr.jp

総会当日：パシフィコ横浜 会議センター 4F・5F

Venue : Pacifico Yokohama

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, JAPAN

総合案内 TEL 045-221-2155

General information TEL. 81-45-221-2155

第48回 日本医真菌学会総会

会 長 滝 内 石 夫 昭和大学藤が丘病院皮膚科
期 日 平成16年9月25日(土), 26日(日)
会 場 パシフィコ横浜 会議センター 4F・5F
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
TEL 045-221-2155

A会場 会務総会, 学会賞記念講演, 教育講演, シンポジウム (1, 4),
小ホール フォーラム, 一般演題 (口演)

B会場 ランチョンセミナー (1, 3), ワークショップ,
(501) 一般演題 (口演), 懇親会

C会場 シンポジウム (2, 3),
(502) ランチョンセミナー (2, 4), 懇親会

ポスター会場 一般演題 (ポスター展示)
(D・E会場)
(4F)

会務総会

Business Meeting

期 日 平成16年9月25日(土) 8:30~9:30
会 場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 小ホール

懇 親 会

Welcome Party

期 日 平成15年9月25日(土) 18:30~20:30
会 場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501, 502室

日本医真菌学会総会の開催地と会長

回 数	開催年度	会 長	開 催 地	回 数	開催年度	会 長	開 催 地
第1回	昭和32年	堂野前 維摩郷 (阪大)	東 京 都	第31回	昭和62年	高 橋 久 (帝京大)	東 京 都
第2回	昭和33年	北 村 包 彦 (東大)	東 京 都	第32回	昭和63年	佐 藤 良 夫 (新潟大)	新 潟 市
第3回	昭和34年	青 山 進 午 (名大)	名古屋市	第33回	平成元年	名嘉真 武 男 (琉球大)	那 覇 市
第4回	昭和35年	秋 葉 朝一郎 (東大)	東 京 都	第34回	平成2年	山 口 英 世 (帝京大)	神奈川県 中郡大磯町
第5回	昭和36年	高 橋 吉 定 (東北大)	仙 台 市	第35回	平成3年	鈴 木 茂 生 (東北薬大)	仙 台 市
第6回	昭和37年	土 屋 毅 (順大)	東 京 都	第36回	平成4年	利 谷 昭 治 (福岡大)	福 岡 市
第7回	昭和38年	大 原 一 枝 (関西医大)	大 阪 市	第37回	平成5年	中 嶋 弘 (横浜市大)	横 浜 市
第8回	昭和39年	樋 口 謙太郎 (九大)	福 岡 市	第38回	平成6年	発 地 雅 夫 (信州大)	松 本 市
第9回	昭和40年	野 口 義 圀 (横浜市大)	横 浜 市	第39回	平成7年	西 川 武 二 (慶應大)	東 京 都
第10回	昭和41年	岩 田 和 夫 (東大)	東 京 都	第40回	平成8年	宮 治 誠 (千葉大)	千 葉 市
第11回	昭和42年	阿 多 實 茂 (名大)	名古屋市	第41回	平成9年	野 澤 義 則 (岐阜大)	岐 阜 市
第12回	昭和43年	福 代 良 一 (金沢大)	金 沢 市	第42回	平成10年	渡 邊 一 功 (順大)	東 京 都
第13回	昭和44年	水 野 重 光 (順大)	東 京 都	第43回	平成11年	篠 田 孝 子 (明治薬大)	東 京 都
第14回	昭和45年	藤 野 恒三郎 (阪大)	大 阪 市	第44回	平成12年	西 本 勝太郎 (長崎市民病院)	長 崎 市
第15回	昭和46年	三 浦 修 (日大)	東 京 都	第45回	平成13年	直 江 史 郎 (東邦大)	東 京 都
第16回	昭和47年	三 浦 祐 晶 (北大)	札 幌 市	第46回	平成14年	小 川 秀 興 (順大)	東 京 都
第17回	昭和48年	伊 藤 友 喜 (岐阜大)	岐 阜 市	第47回	平成15年	長谷川 篤 彦 (日大)	東 京 都
第18回	昭和49年	新 井 正 (千葉大)	千 葉 市	第48回	平成16年	滝 内 石 夫 (昭和大藤が丘)	横 浜 市
第19回	昭和50年	上 坂 一 郎 (京大)	京 都 市				
第20回	昭和51年	宮 崎 寛 明 (順大)	東 京 都				
第21回	昭和52年	螺 良 英 郎 (徳島大)	徳 島 市				
第22回	昭和53年	澤 崎 博 次 (関東逓信病院)	東 京 都				
第23回	昭和54年	香 川 三 郎 (東京医歯大)	東 京 都				
第24回	昭和55年	占 部 治 邦 (九大)	福 岡 市				
第25回	昭和56年	池 本 秀 雄 (順大)	東 京 都				
第26回	昭和57年	深 澤 義 村 (山梨医大)	甲 府 市				
第27回	昭和58年	渡 辺 昌 平 (滋賀医大)	大 津 市				
第28回	昭和59年	奥 平 雅 彦 (北里大)	横 浜 市				
第29回	昭和60年	松 崎 統 (国立別府病院)	別 府 市				
第30回	昭和61年	高 橋 伸 也 (秋田大)	秋 田 市				

第48回 日本医真菌学会総会開催にあたって

第48回 日本医真菌学会総会

会 長 滝 内 石 夫

(昭和大学藤が丘病院皮膚科)

今回、第48回日本医真菌学会総会を開催させていただくことは、身にあまる光栄と考えております。私たち医局員一同精一杯努力いたし、皆様方の御参加を心からお待ち申し上げております。

近年の社会情勢に合わせ、今回のテーマは「アジアと共に歩む医真菌学」とさせていただきます。そのため、例年おこなわれている欧米からの演者による招待講演を中止させていただき、来年1月に開催される第3回アジア・太平洋医真菌学会の前座を務めるべく、中国、インド、インドネシア、韓国、タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポールの8カ国から演者をお招きし、3時間にわたるフォーラム“Mycoses in Asia”を企画いたしました。シンポジウムは、1960年代の *M. canis* 本邦上陸以来の出来事である、*T. tonsurans* 感染症がますます猛威を振るっておりますのでこれを取り上げ、その他、最も演題数の多かった *Candida* と上市直前・直後の抗真菌薬、ならびに、ますます混迷していく *Malassezia* を取り上げました。また、2題の教育講演と4つのランチョンセミナーも計画いたしております。115題の申し込みを頂きました一般演題は、当初、大部分をポスター展示と予定しておりましたが、臨床医の我々にとって興味深い演題について、出来る限りをワークショップおよび口演での発表にまわっていただきました。（なお、連絡の簡便化のため、今回各セッションの座長は医真菌学会の名簿にメールアドレスが記載されていらっしゃる方をお願いすることにいたしましたことをご了承下さい。）

ここ数年間で、会場であるパシフィコ横浜周辺は著しい変貌を遂げ、新しい横浜が出来上がっております。また、みなとみらい線の開通により、横浜駅からのアクセスや、中華街や元町へのアクセスが極めて容易になり、横浜を存分に楽しんでいただけるものと思います。

最後になりましたが、本学会に御協賛、御協力いただきました団体・企業の各位に心から御礼申し上げます。

第48回 日本医真菌学会総会 プログラム日程一覧表

第 1 日 (9 月 25 日 ・ 土)				
	A 会 場 小ホール	B 会 場 501	C 会 場 502	ポスター D・E 会場
8:00	開場			
8:30				
9:00	会務総会			
9:30				
10:00	学会賞記念講演 座長：滝内石夫			ポスター設置
10:15				
11:00	教育講演 食品汚染および輸入真菌症 の最近の話題 座長：畑井喜司雄			
11:45				
12:00		LS-1 ランチョンセミナー 1 爪真菌症の根治を目指して 座長：西川武二 (ヤンセンファーマ)	LS-2 ランチョンセミナー 2 β-グルカンの臨床応用 座長：直江史郎 (藤沢薬品)	
13:00				
13:30	S I シンポジウム 1 深在性真菌症の治療に おける新規抗真菌薬 座長：山口英世 ：河野 茂		S II シンポジウム 2 マラセチアの基礎と臨床 座長：杉田 隆 ：清 佳浩	ポスター展示
14:00		ワークショップ 水虫－治療から予防まで 座長：坪井良治 ：加藤卓朗		
15:00				
16:00	フォーラム Mycoses in Asia 座長：西本勝太郎 ：小川秀興 ：Dr. Byung In Ro ：Dr. Preya Kullavanijaya			
17:00				ポスターセッション
18:00				
18:30	(ノバルティスファーマ)			
19:00		懇 親 会		
20:30				

第 2 日（ 9 月 26 日 ・ 日 ）				
	A 会 場 小ホール	B 会 場 501	C 会 場 502	ポスター D・E 会場
8：00				ポスター展示
8：30				
9：00	□ 演 3 SS-13～SS-17	□ 演 1 SS-1～SS-6		
9：30	□ 演 4 SS-18～SS-22	□ 演 2 SS-7～SS-12	S III シンポジウム 3 カンジダとカンジダ感染症 の研究の現状 ー基礎と臨床の連携を目指すー 座長：西川朱實 ：亀井克彦	
10：00	□ 演 5 SS-23～SS-28			
10：30	□ 演 6 SS-29～SS-33			
11：00				
11：30				
12：00		LS-3 ランチョンセミナー 3 稀ながら定型的な真菌症 座長：安部 茂 ：渋谷和俊 （ファイザー）	LS-4 ランチョンセミナー 4 日常診療における皮膚真菌 症診断法の向上を目指して 座長：渡辺晋一 （エスエス製薬）	
13：00				
13：30	S IV シンポジウム 4 T. tonsurans 感染症の現況 と今後の対策 座長：小川秀興 ：北島康男		ポスター撤去	
14：00		□ 演 7 SS-34～SS-40		
14：30				
15：00	閉会式			
16：00				
17：00				
18：00				
18：30				
19：00				
20：00				

会場案内図 VENUE

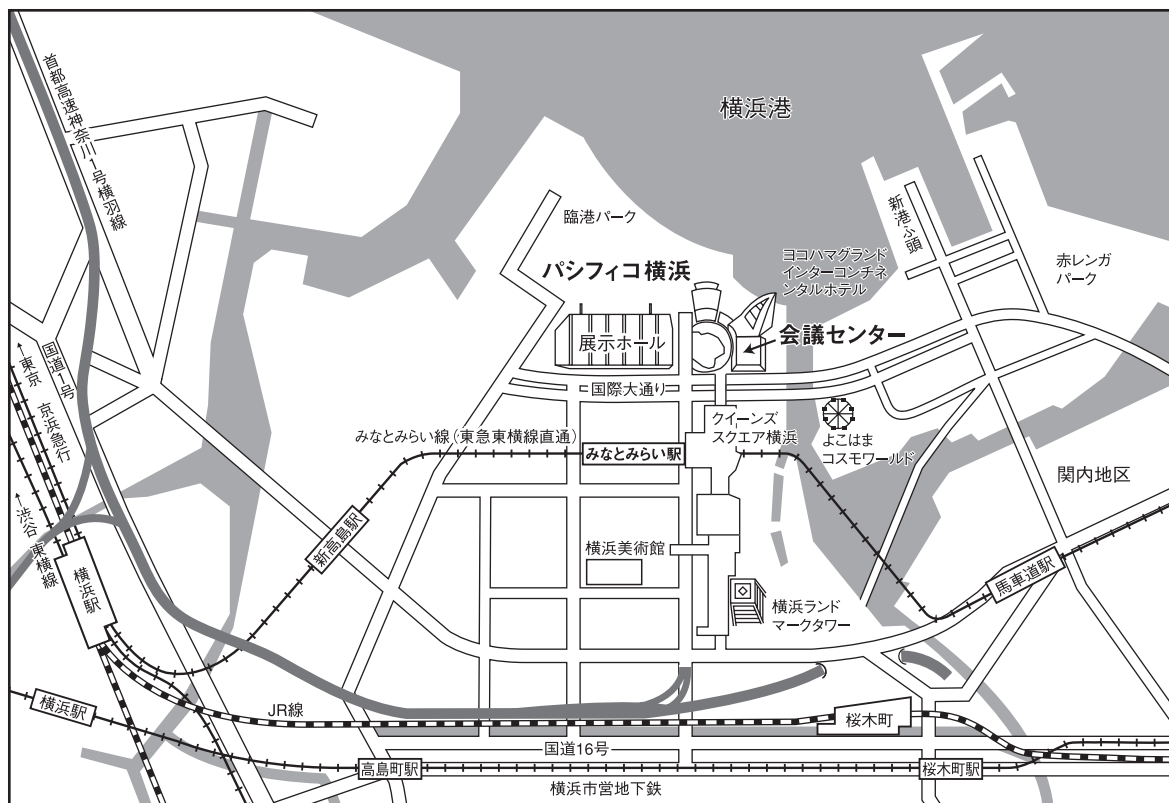
パシフィコ横浜 会議センター 4F・5F

Pacifico Yokohama

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

総合案内 TEL 045-221-2155

交通案内(テープ) TEL 045-221-2166



■交通のご案内

＜渋谷駅から＞特急で約40分

東急東横線（みなとみらい線直通）→ **横浜駅** → **みなとみらい駅** → 徒歩5分 → パシフィコ横浜

＜東京駅から＞約40分

JR 東海道線 → **横浜駅** → みなとみらい線 → **みなとみらい駅** → 徒歩5分 → パシフィコ横浜

＜新幹線・新横浜駅から＞約20分

JR 横浜線 → **菊名駅** → 東急東横線（みなとみらい線直通）→ **横浜駅** → **みなとみらい駅** → 徒歩5分 → パシフィコ横浜

＜飛行機・羽田空港から＞約35分

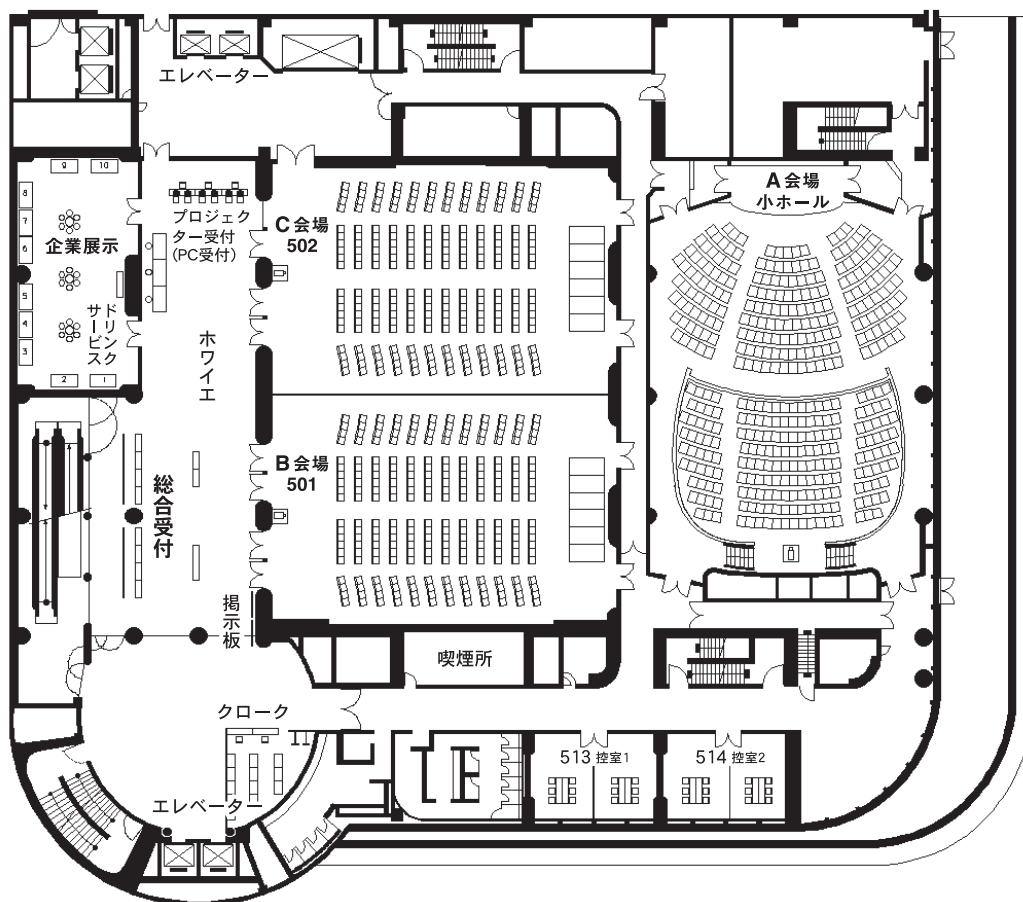
京浜急行 → **横浜駅** → みなとみらい線 → **みなとみらい駅** → 徒歩5分 → パシフィコ横浜

◎みなとみらい駅より「赤いエスカレーターで2Fへ、クイーンズスクエア横浜連絡口経由」で「パシフィコ横浜」へ連絡できます。

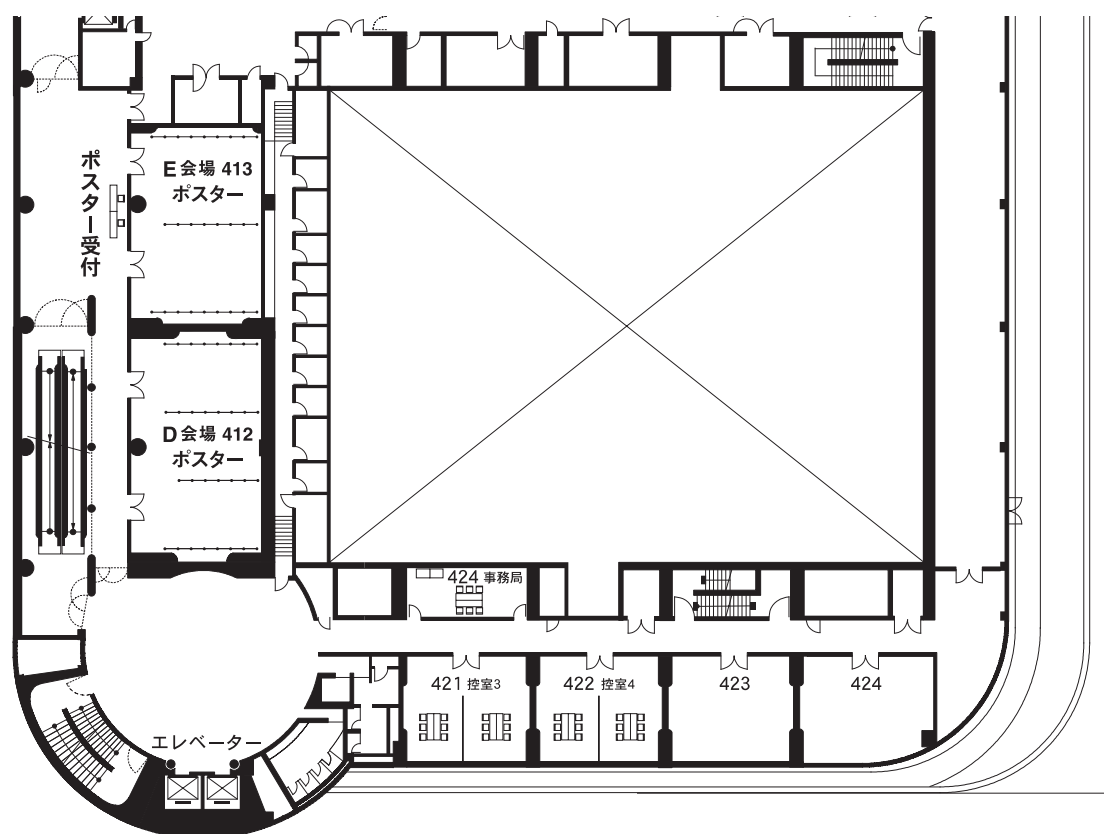
会場案内

パシフィコ横浜・会議センター

5F



4F



お知らせとお願い

A. 参加者の方へ

開 場 時 間：9月25日（土）・26日（日）共に午前 8 時です。

参 加 費（懇親会費を含む）：当日、総会会場受付でお支払い下さい。

学会会員 15,000 円

非 会 員 17,000 円

学生、外国人留学生（所属機関代表者の証明書を持参のこと）

7,000 円

受 付：パシフィコ横浜 会議センター 5 F ホワイエで行います。総合受付で登録し、参加費をお支払いのうえ、ネームプレートをお受け取り下さい。ネームプレートには所属、氏名を記入し、会場で必ずお付け下さい。

抄 録 集：必ずご持参下さい。会場で購入される場合は 1 部 2,000 円です。

懇 親 会：パシフィコ横浜 会議センター 5 F 501・502 において、第 1 日目（9 月 25 日）午後 6 時 30 分より行います。

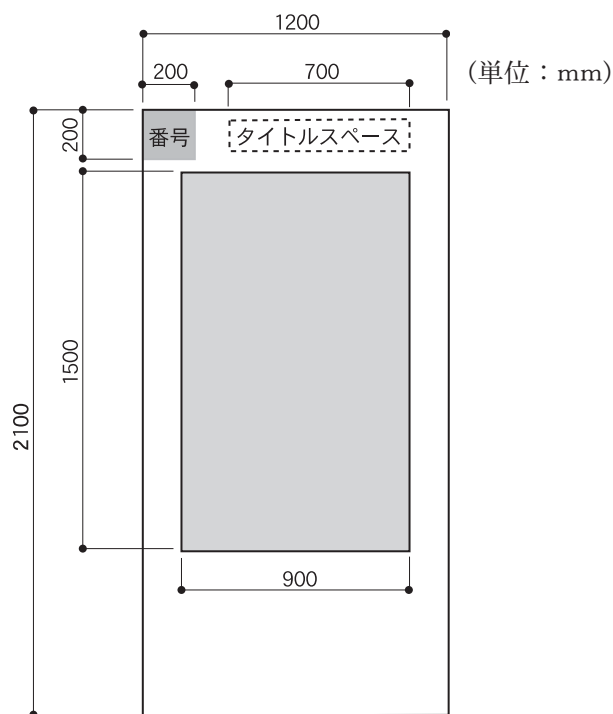
B- 1. 学会賞記念講演, シンポジウム, 教育講演, ランチョンセミナーおよび一般口演の演者の先生方へ

- (1) シンポジウム, ランチョンセミナーの講演時間は座長の指示に従って下さい。一般口演, ワークショップは発表 7 分, 討論 3 分です。
- (2) 講演は, コンピューターと液晶プロジェクターでのプレゼンテーションとなります。
- (3) プレゼンテーションは, マイクロソフト社の PowerPoint で作成して下さい。
- (4) 使用できるフォントは, MS明朝, MSP明朝, MSゴシック, MSPゴシック, Century, Century Gothic, Times New Roman です。これ以外のフォントや特殊文字を使用すると正常に表示されないことがあります。
- (5) データは, MO (128, 230, 640MB まで) か CD に保存して下さい。
- (6) データは, 講演の 1 時間前までに, PC 受付 (5 F) にお持ち下さい。
- (7) 総会が準備した Windows 機で出力しますので, OS や機種に依存した特殊効果などは使用しないで下さい。また, Macintosh でデータを作成された場合は, 試写の際に Windows 用のファイルに変更しますので, 早めに受付へおいで下さい。
- (8) 上記の条件に合うデータの作成が困難な場合は, 総会事務局でお手伝いしますので, 総会事務局までご連絡下さい。

35mm スライドは使用できませんので, ご注意下さい
(すべてコンピューターと液晶プロジェクターです)。

B-2. ポスター発表の先生方へ

- (1) 会場内に演題番号のついたパネル板を用意いたします。タイトル用スペース（演題名，演者名，所属）は 70cm×20cm，本文用スペースは 90cm×150cm として下さい（下図参照）。
- (2) ピンは当日会場に用意いたします。
- (3) 1 日目（9 月 25 日）の午前 12 時までに貼付して下さい。また，2 日間連続で展示して下さい。
- (4) ポスターセッションは 1 日目の午後 4 時 30 分～6 時に行いますので，発表者はパネルの前に待機して下さい。本総会では，ポスター発表の内容に関しては座長の指示に従って討論して下さい。
- (5) ポスターは 2 日目（9 月 26 日）午後 1 時～午後 3 時までに撤去して下さい。



B-3. ポスター発表の座長の先生方へ

- (1) 指定時間内にすべての討論が終了するように進行して下さい。（討論 5 分）
- (2) 個々の演題について発表者の説明は予定しておりませんので，適宜ご討議をお願いいたします。

C. 講演原稿の提出について

学会賞記念講演，シンポジウム，教育講演等につきましては，講演内容をまとめた総説を後日，日本医真菌学会雑誌に掲載致しますので，演者は16年10月末日までに下記宛原稿の提出をお願いします。

◆原稿の送付先

〒260-8673 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学真菌医学研究センター内
日本医真菌学会編集部
TEL. 043-222-7171 Ext. 5916
FAX. 043-226-2486

D. 皮膚科の先生方へ

本会出席者には皮膚科専門医制度後実績 6 単位が認められます。受付で記帳後、受講証をお受け取り下さい。

感染症認定医の先生方へ

日本感染症学会による感染症認定医更新時の実績として、本会出席者には 3 単位、演者にはさらに 3 単位が認められます。なお、更新時には参加証が必要になります。

薬剤師の先生方へ

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、6 単位が認められます。受付で研修受講シールをお受け取り下さい。

E. その他

1. 会場内の呼び出しは原則としてお断りします。受付付近に伝言板を用意いたしますので、ご利用下さい。緊急の場合の呼び出しは総合受付にお申し出下さい。
2. 館内では指定された場所以外での喫煙、飲食は禁止されておりますので、ご協力をお願いいたします。
3. 会場には無料の飲み物のサービスがあります。

理事会, 評議員会, 各種委員会

期 日 平成16年 9 月24日 (金) 午後 (総会前日)

各種小委員会会場

パシフィコ横浜 会議センター 4F・5F

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-221-2155

理事会・評議員会会場

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F

(パシフィコ横浜の隣り)

〒220-8522 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-223-2222

12 : 00	受 付 開 始 (5 F)
13 : 00	
	各種小委員会 パシフィコ横浜 会議センター 4F・5F
14 : 00	
14 : 30	理 事 会 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F「アドリア」
16 : 00	
16 : 30	評 議 員 会 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3F「カンヌ」
18 : 00	

プ ロ グ ラ ム

学 会 賞 記 念 講 演

フ ォ ー ラ ム

教 育 講 演

シ ン ポ ジ ウ ム 1, 2, 3, 4

ラ ン チ ョ ン セ ミ ナ ー 1, 2, 3, 4

会 務 総 会

第48回 日本医真菌学会総会プログラム

「アジアと共に歩む医真菌学」

学 会 賞 記 念 講 演

A 会場（小ホール）

9 月 25 日（土） 9：30～10：15

座 長：滝内石夫（昭和大・藤が丘病院・皮）

FORUM “MYCOSES IN ASIA”

A 会場（小ホール）

9 月 25 日（土） 15：00～18：30

座 長：西本勝太郎（掖済会長崎病院）

小川秀興（順天堂大・医・皮）

Dr. Byung In Ro (Korea)

Dr. Preya Kullavanijaya (Thailand)

F－司会のことば

Forum “Mycoses in Asia”

西本勝太郎（掖済会長崎病院）

F－1 Current Problems of Tinea Capitis in China

Yu Jin, Li Ruoyu

(Department of Dermatology, Peking University First Hospital)

F－2 Mycoses in India - an Update

B.M. Hemashettar

(Professor and Head of the Department, Department of Microbiology,

Basaveshwara Medical College, India)

F－3 The Changing Faces of Mycosis in Indonesia

Kusmarinah Bramono

(Department of Dermato-Venereology, Medical Faculty, University of Indonesia, Jakarta)

F－4 Phaeohyphomycosis in Korea

Moo Kyu Suh

(Department of Dermatology, College of Medicine, Dongguk University, Kyongju, Korea)

F－5 Is *Candida* Onychomycosis Relevant in Asia?

Steven KW Chow

(Consultant Dermatologist Pantai Medical Centre

Gleneagles Intan Medical Centre Kuala Lumpur Malaysia)

F-6 Mycology in the Philippines Revisited

Evangeline B. Handog

(Consultant-Dermatologist, Research Institute for Tropical Diseases

Vice-Chair, Dept. of Dermatology, Asian Hospital and Medical Center Philippines)

F-7 Cutaneous Fungal Infection Seen at the National Skin Centre, Singapore from 1999 to 2003

Hiok Hee Tan

(National Skin Centre, Singapore)

F-8 Mycoses in Thailand: *Current Concerns*

Rataporn Ungpakorn

(Institute of Dermatology, Bangkok, Thailand)

(協賛：ノバルティスファーマ株)

教 育 講 演	A 会場 (小ホール)
食品汚染および輸入真菌症の最近の話題	

9月25日 (土) 10:15~11:45

座 長：畑井喜司雄 (日本獣医畜産大・内科)

ES-1 食品のカビ汚染とリスクアセスメント

宇田川俊一 (日本食品分析センター)

ES-2 わが国の輸入真菌症とその問題点

亀井克彦 (千葉大・真菌センター)

シンポジウム 1	A 会場 (小ホール)
深在性真菌症の治療における新規抗真菌薬	

9月25日 (土) 13:00~15:00

座 長：山口英世 (帝京大・医真菌研)

河野 茂 (長崎大・大学院医歯薬学総合研究科・感染分子病態学講座)

S I-司会のことば 深在性真菌症の治療における新規抗真菌薬

○河野 茂 (長崎大・大学院医歯薬学総合研究科・感染分子病態学講座)

山口英世 (帝京大・医真菌研)

S I-1 キャンディン系抗真菌薬ミカファンギン

池田文昭 (藤沢薬品株 薬理研究所)

S I-2 ポリコナゾール –医療ニーズ, エビデンス, 将来への可能性–

白沢博満 (ファイザー株・クリニカル・リサーチ統括部)

S I-3 リボソーム・アムホテリシン B

○中條英司, 深澤万左友 (住友製薬株 開発本部)

S I-4 イトラコナゾール注射剤の有用性とその臨床応用

○鳥居慎一, 重岡恒彦, 井上晃一, 下田大作, 鈴木康正 (ヤンセンファーマ株 前臨床・臨床開発部)

シンポジウム 2
マラセチアの基礎と臨床

C 会場 (502)

9 月 25 日 (土) 13:00~15:00

座 長: 杉田 隆 (明治薬大・微生物)
清 佳浩 (昭和大・藤が丘・皮)

S II-1 *Malassezia* の多遺伝子解析による系統分類と同定の新展開

1) リボソーム RNA 遺伝子

杉田 隆 (明治薬大・微生物)

S II-2 *Malassezia* の多遺伝子解析による系統分類と同定の新展開

2) ミトコンドリア・チトクローム *b* 遺伝子

横山耕治 (千葉大・真菌センター)

S II-3 3) キチン合成酵素 2 (*CHS2*) 遺伝子

加納 壘¹, 平井明香¹, 渡辺晋一², 長谷川篤彦¹

(¹日大・獣医・臨病, ²帝京大・医・皮)

S II-4 脂漏性皮膚炎・アトピー性皮膚炎とマラセチア

田嶋磨美 (東京医大・皮)

S II-5 犬のマラセチア皮膚炎

岩崎利郎 (東京農工大・獣医内科)

S II-6 癬風の起因菌に関する検討

○森下宣明¹, 臼井理枝子¹, 清 佳浩¹, 杉田 隆²

(¹昭和大・藤が丘・皮, ²明治薬大・微生物)

シンポジウム 3

C 会場 (502)

カンジダとカンジダ感染症の研究の現状 ―基礎と臨床の連携を目指す―

9 月 26 日 (日) 9:30~11:30

座 長: 西川朱實 (明治薬大・免疫生物)
亀井克彦 (千葉大・真菌センター)

S III-1 口腔カンジダの付着およびバイオフィルム形成

○二川浩樹, 濱田泰三 (広島大・大学院医歯薬学研究科歯科補綴学)

S III-2 *Candida albicans* 呼吸欠損株の細胞生物学

青木茂治 (日本歯科大・新潟・先端研)

S III-3 酵母を利用した病原真菌遺伝子の機能解析と創薬へのアプローチ

新見昌一 (国立感染研・生物活性物質)

S III-4 内科から見たカンジダ症診療の課題

宮崎義継 (長崎大・大学院・医歯薬学総合研究科・感染分子病態学講座)

S III-5 救急・集中治療領域におけるカンジダ症の現状「深在性真菌症の診断・治療ガイドライン」をめぐって

○織田成人^{1, 2}, 平澤博之^{1, 2}, 相川直樹², 島崎修次², 村田厚夫², 石川秀樹²

(¹千葉大・大学院・救急集中治療医学, ²日本クリティカルケア真菌症研究会)

シンポジウム 4

A 会場 (小ホール)

***T. tonsurans* 感染症の現況と今後の対策**

9 月 26 日 (日) 13:00~15:00

座 長: 小川秀興 (順天堂大・医・皮)

北島康雄 (岐阜大・医・皮)

S IV-1 *Trichophyton tonsurans* 感染症の東北・北海道地方に於ける現状と治療上の問題点

笠井達也 (笠井皮膚科)

S IV-2 関東地方における格闘技施設の調査用紙と hairbrush 法を用いた *Trichophyton tonsurans* 感染症の疫学調査とその対策

○比留間政太郎, 白木祐美 (順天堂大・医・皮)

廣瀬伸良 (順天堂大・スポーツ健康・柔道)

S IV-3 北陸地方, 近畿地方における *Trichophyton tonsurans* 感染症の実態調査

望月 隆 (金沢医大・皮)

S IV-4 中国・四国・九州における *Trichophyton tonsurans* 感染症の疫学調査発生状況, 集団検診とその後の経過

○西本勝太郎 (掖済会長崎病), 小笠原弓恵 (山口大・医・皮), 篠田英和 (篠田皮膚科)

S IV-5 *T. tonsurans* のヒト角質内への侵入速度ならびにミコナゾール含有シャンプーによる予防効果の検討

○二宮淳也, 森下宣明, 伊藤弥生, 滝内石夫 (昭和大・藤が丘・皮)

ランチョンセミナー 1
爪真菌症の根治を目指して

B 会場 (501)

9 月 25 日 (土) 12:00~13:00

座 長: 西川武二 (慶応大・医・皮)

LS-1-1 爪白癬の根治を目指して

東 禹彦 (東皮フ科医院)

LS-1-2 表在性真菌症の予防法と治療法への新たな戦略

安部 茂 (帝京大・医真菌研)

(共催: ヤンセンファーマ)

ランチョンセミナー 2
 β -グルカンの臨床応用

C 会場 (502)

9 月 25 日 (土) 12:00~13:00

座 長: 直江史郎 (桐蔭横浜大・先端医用工学研究センター)

LS-2-1 真菌 β -グルカンをめぐる最近の話題

大野尚仁 (東京薬科大・薬)

LS-2-2 (1→3)- β -D-グルカン測定法における問題点と今後の展望

吉田耕一郎 (川崎医大・呼内)

(共催: 藤沢薬品)

ランチョンセミナー 3
稀ながら定型的な真菌症

B 会場 (501)

9 月 26 日 (日) 12:00~13:00

座 長: 安部 茂 (帝京大・医真菌研)

渋谷和俊 (東邦大・大森・病理)

LS-3-1 トリコスポロン症

時松一成 (大分大・医・感染分子病態制御)

LS-3-2 *Scedosporium apiospermum* による菌球型肺真菌症の一例

安藤常浩 (日赤医療センター・呼吸器内科, 東邦大・大橋病・病理)

LS-3-3 アレルギー性真菌性副鼻腔炎

若山 恵（東邦大・大橋病・病理）

（共催：ファイザー）

ランチョンセミナー 4

C 会場（502）

日常診療における皮膚真菌症診断法の向上を目指して

9月26日（日）12：00～13：00

座 長：渡辺晋一（帝京大・医・皮）

LS-4-1 病原真菌，特にカビのてがるな同定法

西村和子（千葉大・真菌センター）

LS-4-2 ラジオ工作用ドリルを用いた開窓法で，爪中での皮膚糸状菌の寄生形態を見る．先端より 1 cm 違いで，大違い

齋藤卓也（愛生会山科病院・皮膚科）

（共催：エスエス製薬）

会 務 総 会

A 会場（小ホール）

9月25日（土）8：30～9：30

会務総会

パシフィコ横浜・会議センター 5F 小ホール

◆企業展示出展社名（順不同）

アプライドバイオシステムジャパン株式会社

株式会社科薬

生化学工業株式会社

鳥居薬品株式会社

持田ヘルスケア株式会社

安井器機株式会社

ユーシーピージャパン株式会社

有限会社医学出版サービス

一 般 演 題
(ワ ー ク シ ョ ッ プ ・
口 演 発 表 ・ ポ ス タ ー 展 示)
プ ロ グ ラ ム

一般演題

第1日目 9月25日(土)

13:30~15:00

ワークショップ『水虫－治療から予防まで』 (13:30~15:00)

B会場 (501)

座長：坪井良治(東京医大・皮), 加藤卓朗(済生会川口・皮)

WS-1 スタンプ法を用いた白癬菌の分離－靴下と履物の除菌法－

○入交純也^{1,2}, 田中公美², 谷口裕子², 加藤卓朗³

(¹湘南鎌倉・皮, ²東医歯大・医・皮, ³済生会川口・皮)

WS-2 足白癬患者の通院・治療に関する意識調査結果

渡辺晋一(帝京大・医・皮)

WS-3 足白癬に対するイトラコナゾール(1日200mg)パルス療法後3年間の経過観察および患者の意識調査

○小林裕美¹, 中西健史¹, 石井正光¹, 比留間政太郎²

(¹大阪市大・皮, ²順天堂大・医・皮)

WS-4 テルビナフィン250mg/日7日間の間歇投与による足白癬の治療と治療後の長期観察

○浜口太造¹, 樋口良太², 二宮淳也², 滝内石夫²

(¹昭和大・横浜市北部・皮, ²昭和大・藤が丘・皮)

WS-5 爪真菌症に対するterbinafine錠(500mg/日×1週間)のパルス療法とterbinafineクリーム外用療法の併用療法の検討

○早田名保美¹, 白木祐美², 角田美英², 河井正晶², 比留間政太郎²

(¹江東・皮, ²順天堂大・医・皮)

WS-6 爪白癬に対するテルビナフィン間歇投与法の検討(続報)

○奥田長三郎¹, 伊藤雅章²(¹済生会三条・皮, ²新潟大・医・皮)

WS-7 爪白癬治療におけるイトラコナゾール200mgパルスの効果と限界

○出射敏宏(京都大・医・皮)

一般演題（口演発表）

第2日目 9月26日（日）

8：30～14：40

口演1『カンジダ』（8：30～9：30）

B会場（501）

座長：鈴木茂生（仙台真菌研），長環（福岡歯大・感染生物学）

- SS-1 帝京大学附属病院において分離された micafungin 耐性 *Candida glabrata* の生物学的特性の検討
○西山彌生^{1,2}，蓮見弥生²，藤崎竜一²，Petr Hamal²，槇村浩一²，斧 康雄³，内田勝久⁴，山口英世^{2,4}
（¹帝京大・医療技術，²同・医真菌研，³同・医・微生物，⁴帝京医真菌研究会）
- SS-2 *Candida albicans* 増殖形態の酸素による制御機構
○渡部俊彦，小笠原綾子，三上 健，松本達二（東北薬大・微生物）
- SS-3 抗悪性腫瘍薬の抗真菌作用 —*Candida albicans* に対する二つの新規作用—
○松本 怜¹，杉田 隆¹，西川朱實²（¹明治薬大・微生物，²同・免疫生物）
- SS-4 *Candida* 症血清学的診断法の改善に関する情報
○鈴木茂生¹，小林秀光²，柴田信之³，大川喜男³
（¹仙台真菌研，²九州女子大・家政，³東北薬大・第2衛生）
- SS-5 A Membrane Protein Hyper-expression System and Its Application in the Search for New Antifungal Drugs
○Erwin Lamping¹，Brian C. Monk¹，Ann R. Holmes¹，新見京子¹，Sarah Tsao¹，仲村健二郎²，新見昌一³，Richard D. Cannon¹
（¹Dept Oral Sciences, Otago Univ, New Zealand，²日歯大・新潟・先端研，³国立感染研・生物活性物質）
- SS-6 血液疾患患者で発症したアゾール耐性 *C. tropicalis* によるカンジダ血症の4例
○明見能成¹，菅田辰海¹，飯田創治²，三上 襄²
（¹広島赤十字病院・歯口外，²千葉大・真菌センター）

口演2『菌種の同定』（9：30～10：30）

B会場（501）

座長：高鳥浩介（国立医薬品食品栄研・衛生微生物），槇村浩一（帝京大・医真菌研）

- SS-7 千葉大学真菌医学研究センター保存 *Candida albicans* の遺伝子型による疫学的検討
○伊藤純子，佐藤綾香，田中玲子，亀井克彦，西村和子（千葉大・真菌センター）
- SS-8 *Trichophyton tonsurans* の intergenic spacer (IGS) の RFLP による種内多型解析
○福島和貴，滝澤香代子，Paride Abliz，西村和子（千葉大・真菌センター）
- SS-9 病原性 *Rhizopus* 属の分子生物学的同定
○永尾圭介¹，大田孝幸²，西川武二¹（¹慶応大・医・皮，²東京医療センター・皮）

SS-10 *Nocardia vinacea* の本邦における初めての報告例と本菌に近縁な新種について

○矢沢勝清¹, 影山亜紀子², 西村和子¹, 三上 襄¹

(¹千葉大・真菌センター, ²北里大・生命科学研究所)

SS-11 韓国の患者より分離された *Cephalotheca* 属の同定について

○矢口貴志¹, 徐 武揆², 佐野文子¹, 鎗田響子¹, 宇田川俊一³, 西村和子¹

(¹千葉大・真菌センター, ²韓国東國大・医, ³東京農大・総研)

SS-12 「タモギタケ」栽培キノコ農家に発症した Mushroom-worker's lung (過敏性肺炎) 起因菌の分子生物学的解析

○楨村浩一¹, 内田勝久², 山口英世², 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²帝京医真菌研究会)

口演3『深在性真菌症①』(8:30~9:20)

A 会場 (小ホール)

座 長: 竹尾漢治 (千葉大・真菌センター), 石橋康久 (北里研・メディカルセンター・眼)

SS-13 急性骨髄性白血病の経過中に発症した上顎洞ムーコル症の一例

○稲福和宏¹, 細川 篤¹, 金森志奈子¹, 中里哲郎², 平良直也², 大浜喜代人², 親泊美香³, 玉城三七夫³, 新濱明彦³ (¹琉球大・皮, ²同・第二内, ³同・耳鼻咽喉)

SS-14 *Nocardia brasiliensis* による皮膚ノカルジア症の1例

○澤田美月¹, 石崎純子¹, 繁益弘志¹, 原田敬之¹, 三上 襄²

(¹東女医大第2・皮, ²千葉大・真菌センター)

SS-15 *Nocardia beijingensis* による背部皮下膿瘍の1例

○玉城善史郎¹, 服部尚子^{1,2}, 佐々木苗胤¹, 常深祐一郎¹, 外山啓子¹, 三澤慶樹³, 三上 襄⁴
(¹東大・医・皮, ²同愛記念病院・皮, ³東大・医・感染制御部, ⁴千葉大・真菌センター)

SS-16 74歳女性の顔面に生じた *Paecilomyces lilacinus* 感染症の1例

○北見由季, 香川三郎, 飯島正文 (昭和大・医・皮)

SS-17 *Paecilomyces lilacinus* と *Acremonium* spp. が分離された角膜真菌症の1例

○細川 篤¹, 稲福和宏¹, 野中薫雄¹, 新里 学², 澤口昭一², 佐野文子³

(¹琉球大・医・皮, ²同・医・眼, ³千葉大・真菌センター)

口演4『深在性真菌症②』(9:20~10:10)

A 会場 (小ホール)

座 長: 西川武二 (慶大・医・皮), 高森建二 (順天堂浦安・皮)

SS-18 手背に生じた皮膚固定型スポロトリコーシスの1例と当科で2年間に臨床的に分離された *Sporothrix schenckii* の rDNA の ITS 領域塩基配列の検討

○佐藤友隆¹, 松尾隼朗¹, 長谷川太一², 勝 正和², 三上 襄²

(¹帝京大・市原・皮, ²千葉大・真菌センター)

SS-19 Phaeohyphomycosis の 1 例

○高橋よしえ^{1,2}, 楠原正洋¹, 橋本 隆¹

(¹久留米大・医・皮, ²社会保険田川病院・皮)

SS-20 腎移植患者に生じた黒色糸状菌症の 1 例

○竹中 基¹, 西本勝太郎²

(¹長崎大・皮, ²掖済会長崎病院・皮)

SS-21 黒色真菌の重複感染症例から得られた黒色真菌について

○西川武二¹, 永尾圭介¹, 仲 弥², 原田敬之³, 河崎昌子⁴

(¹慶大・医・皮, ²仲皮膚科, ³東女医大第二・皮, ⁴金沢医大・皮)

SS-22 Localized Skin Infection Caused by *Cephalotheca foveolata*

○MK Suh¹, HC Lee¹, SB Kwon¹, GY Ha¹, JR Kim², K Nishimura³

(Dept of Dermatol, ¹Lab Med, ²Pathol, Dongguk Univ, Korea, ³Chiba Univ, Japan)

口演 5 『*T. tonsurans*』 (10:10~11:10)

A 会場 (小ホール)

座 長: 比留間政太郎 (順天堂大・医・皮), 永尾圭介 (慶応大・医・皮)

SS-23 愛知県, 岐阜県の *Trichophyton tonsurans* 感染症の 19 例

○藤広満智子¹, 鹿野由紀子², 清島真理子³, 望月 隆⁴

(¹揖斐総合・皮, ²大垣市・皮, ³大垣市民・皮, ⁴金沢医大・皮)

SS-24 スポーツ系大学運動部における *Trichophyton tonsurans* 感染症の集団検診とその対策

○廣瀬伸良¹, 白木祐美², 比留間政太郎², 小川秀興²

(¹順天堂大・スポーツ健康・柔道, ²同・医・皮)

SS-25 埼玉県でみられた *Trichophyton tonsurans* による白癬の 4 例

○仲 弥¹, 永尾圭介², 畑 康樹³, 今川一郎⁴

(¹仲皮膚科, ²慶応大・医・皮, ³済生会神奈川・皮, ⁴今川皮膚科)

SS-26 *Trichophyton tonsurans* による白癬の 13 例

○高瀬孝子¹, 大塚藤男² (¹高瀬皮膚科, ²筑波大・医・皮)

SS-27 *Trichophyton tonsurans* のコロニー形態は *sulferum* type から *mahogany red* type に変化する

藤田 繁 (藤田皮膚科)

SS-28 山梨県下の *Trichophyton tonsurans* による白癬

○寺本輝代¹, 寺本真人¹, 若松勝雄² (¹寺本医院, ²わかまつ皮膚科クリニック)

口演 6 『白癬』 (11:10~12:00)

A 会場 (小ホール)

座 長: 杉浦 丹 (清水市立・皮), 小林裕美 (大阪市大・医・皮)

SS-29 集団感染が疑われた *Epidermophyton floccosum* による股部白癬の 7 例

○高橋容子^{1,2}, 佐野文子², 鎗田響子², 亀井克彦², 西村和子²

(¹きさらづ皮膚科, ²千葉大・真菌センター)

SS-30 *Arthroderma benhamiae* (*T. mentagrophytes* anymal type 4) による体部白癬の1例

○白木祐美¹, 松葉よう子¹, 比留間政太郎¹, 小川秀興¹, 槇村浩一²

(¹順天堂大・医・皮, ²帝京大・医真菌研)

SS-31 老人ホーム入居者および職員に生じた *Trichophyton violaceum* 感染症

○角谷廣幸¹, 角谷孝子¹, 望月 隆² (¹あいおい皮膚科クリニック, ²金沢医大・皮)

SS-32 兎から感染した体部白癬の母子例

○角谷廣幸¹, 角谷孝子¹, 望月 隆² (¹あいおい皮膚科クリニック, ²金沢医大・皮)

SS-33 臨床症状から皮膚腫瘍と誤診したケルスス禿瘡の2歳男児例

○畑 康樹, 山本奈緒 (済生会神奈川・皮)

口演7『アスペルギルス』(13:30~14:40)

B 会場 (501)

座 長: 久米 光 (北里大・病理), 前崎繁文 (埼玉医大・内科)

SS-34 *In situ* hybridization (ISH) 法による組織内 *Aspergillus flavus* の特異的検出

○村山琮明¹, 横山耕治², 遠藤成朗², 西村和子², 渋谷和俊³

(¹北里大・生命研&大学院感染制御科学府・感染情報, ²千葉大・真菌センター, ³東邦大・大森病・病理)

SS-35 *Aspergillus fumigatus* 胞子および培養上清の反復投与によるマウス肺組織への影響

○橋本佳江¹, 渡辺 哲², 落合恵理¹, 日暮浩実³, 亀井克彦²

(¹千葉大・大学院・自然科学, ²同・真菌センター, ³同・医学研究院・加齢呼吸器)

SS-36 人免疫グロブリン製剤中の抗 *Aspergillus* 抗体の検出

○江原美里, 三浦典子, 安達禎之, 大野尚仁 (東京薬大・薬・免疫学)

SS-37 *Aspergillus* 培養上清可溶性多糖画分のリムルス G 因子反応性

○畔蒜祐一郎, 石橋健一, 三浦典子, 安達禎之, 大野尚仁 (東京薬大・薬・免疫学)

SS-38 臨床由来の *Aspergillus* section *Fumigati* の形態と系統解析

○矢口貴志¹, 田中玲子¹, 堀江義一², 西村和子¹

(¹千葉大・真菌センター, ²千葉県中央博)

SS-39 BioCell Tracer によるヒト血清中 micafungin の *Aspergillus fumigatus* 菌糸に対する薬効評価に関する基礎的研究

○田口英昭, 亀井克彦, 渡辺 哲, 佐藤綾香, 福島和貴 (千葉大・真菌センター)

SS-40 空洞形成した肺アスペルギルス症6例の検討

○木村雅友 (近畿大・医・病理)

一 般 演 題 (ポスター発表)

第1日目 9月25日(土) 8:30~18:00 4F, D・Eポスター会場

第2日目 9月26日(日) 8:30~13:00 4F, D・Eポスター会場

ポスターは2日続けて展示して下さい。

ポスターセッションは25日(土) 16:30~18:00に行います。発表者はパネルの前で待機して下さい。

(ポスターセッション 1 16:30~17:10 PS-1~PS-8)

座 長: 五十棲 健 (東京警察・皮)

浜口太造 (昭和大横浜北部・皮)

PS-1 *Trichophyton rubrum* による顔面に生じた生毛部急性深在性白癬

○竹之下秀雄 (白河厚生総合病院・皮)

PS-2 顔面に発症した *M. gypseum* による異型白癬の1例

○河井正晶¹, 深井達夫², 比留間政太郎², 高森建二¹

(¹順天堂大・浦安・皮, ²順天堂大・医・皮)

PS-3 中国系日本人の男児に生じた *T. violaceum* による black dot ringworm の1例

○近藤真帆, 早田名保美, 白木祐美, 比留間政太郎, 小川秀興

(順天堂大・医・皮)

PS-4 サブローブドウ糖寒天培地の所見で, *Microsporum canis* と鑑別が困難であった *Microsporum gypseum* 感染症の1例

○畑 康樹¹, 山本奈緒¹, 永尾圭介², 増田光喜³, 仲 弥⁴

(¹済生会神奈川・皮, ²慶応大・医・皮, ³増田医院, ⁴仲皮フ科)

PS-5 柔道部員, 相撲選手に生じた *Trichophyton tonsurans* による体部白癬およびケルスス禿瘡

○清島真理子¹, 小田真喜子¹, 山中新也¹, 浅野裕子², 藤広満智子³, 望月 隆⁴

(¹大垣市民・皮, ²同・診療検査, ³揖斐総合・皮, ⁴金沢医大・皮)

PS-6 石川県内高校柔道部員を対象にしたヘアブラシ法による *Trichophyton tonsurans* 感染症のスクリーニング結果

○田邊 洋¹, 河崎昌子¹, 望月 隆¹, 石崎 宏²

(¹金沢医大・皮, ²同・皮膚真菌(ノバルティス))

PS-7 *Trichophyton tonsurans* による白癬の潜伏感染

笠井達也 (笠井皮膚科)

PS-8 都内大学柔道部員における *Trichophyton tonsurans* 感染症の追跡検診

○海老原睦仁¹, 吉田江理^{2,3}, 楨村浩一², 坪井良治³, 渡辺晋一⁴, 安部 茂²

(¹自衛隊中央・皮, ²帝京大・医真菌研, ³東京医大・皮, ⁴帝京大・皮)

(ポスターセッション 2 17:10~17:45 PS-9~PS-15)

座 長：原田敬之（東女医大第二・皮）

毛利 忍（横浜市民・皮）

PS-9 1 歳児の趾爪白癬の 2 例

藤広満智子（揖斐総合・皮）

PS-10 *Scopulariopsis* による爪真菌症の 1 例

○成田有紀，滝内石夫（昭和大・藤が丘・皮）

PS-11 爪白癬に対する外用療法 ― 5%サリチル酸ラノコナゾール軟膏による密封療法の試み―

○堀之蘭弘，津福久恵，海老原睦仁，大倉隆昭，前嶋啓孝，矢口 均（自衛隊中央・皮）

PS-12 SLE 患者の下腿にみられた *Phaeohyphomycosis* の 1 例

○小笠原弓恵，高畑ゆみ子，内平美穂，武藤正彦（山口大・医・皮）

PS-13 チトクローム *b* 遺伝子による *Malassezia* 属菌同定用 DNA チップの開発

○遠藤成朗¹，小森隆嗣²，横山耕治¹，S.K. Biswas³，王 麗^{1,4}，西村和子¹

（¹千葉大・真菌センター，²藤沢薬品・物性研，³Texas Tech Univ. Dept of Microbiol. & Immu., ⁴吉林大・白恩求医学部）

PS-14 アトピー性皮膚炎患者血清中の *Malassezia* 特異抗原の解析

○朝日陽子¹，加藤博司¹，杉田 隆²，西川朱實¹

（¹明治薬大・免疫生物，²同・微生物）

PS-15 脂漏性皮膚炎に対するケトコナゾールクリームとステロイド外用剤の臨床的有用性の検討

○清 佳浩，二宮淳也，森下宣明，滝内石夫（昭和大・藤が丘・皮）

(ポスターセッション 3 16:30~17:00 PS-16~PS-21)

座 長：服部尚子（同愛記念・皮）

阿部美知子（北里大・衛生臨床検査）

PS-16 *Trichophyton rubrum* 分節孢子形成法の検討

○福山國太郎¹，丸山隆児²（¹東京医歯大・医・皮，²中野総合・皮）

PS-17 千葉大学真菌センター保存菌株の再評価 ―*Microsporum canis*, *M. gypseum* 及び *M. cookei* について―

○鎗田響子，伊藤純子，佐野文子，亀井克彦，西村和子（千葉大・真菌センター）

PS-18 抗白癬菌モノクローナル抗体を用いた非顕微鏡的白癬診断（第 2 報）

○法木左近¹，梶谷和生²，石田久哉³，熊切正信⁴

（¹福井大・医・病理，²東洋紡・敦賀バイオ研，³いしだ皮膚科クリニック，⁴福井大・医・皮）

PS-19 表皮ケラチノサイトに対する白癬菌の影響

○小林美和，戸倉新樹（産業医大・皮）

PS-20 ミコナゾール含有シャンプーによる足白癬の防止効果の検討 ―ヒト角質への菌液塗布実験から―
○二宮淳也, 伊藤弥生 (昭和大・藤が丘・皮)

PS-21 イムノアッセイによる爪白癬検査の試み
○梶谷和生¹, 法木左近², 石田久哉³, 熊切正信⁴
(¹東洋紡・敦賀バイオ研, ²福井大・医・病理, ³いしだ皮膚科クリニック, ⁴福井大・医・皮)

(ポスターセッション 4 17:00~17:40 PS-22~PS-29)

座 長: 新見昌一 (国立感染研・生物活性)

河崎昌子 (金沢医大・皮膚真菌ノバルティス)

PS-22 輸入真菌症原因菌 *Penicillium marneffe* の迅速同定と *Penicillium* 属菌の系統関係について
○横山耕治¹, 王 麗², S.K. Biswas³, 遠藤成朗¹, 西村和子¹
(¹千葉大・真菌センター, ²吉林大・白恩求医学部, ³Texas Tech Univ. Dept of Microbiol. & Immu.)

PS-23 病原性黒色真菌 *Phialophora verrucosa* および *Phialophora americana* の IGS の塩基配列解析
○近森 穰, 滝澤香代子, 橋爪藤子, 西村和子, 福島和貴
(千葉大・真菌センター)

PS-24 *Pseudallescheria boydii* (anamorph: *Scedosporium apiospermum*) の同定指標としての D1/D2 領域の評価及び IGS の RFLP による種内多型解析
○滝澤香代子¹, 曾 敬思², 西村和子¹, 福島和貴¹
(¹千葉大・真菌センター, ²中国・華中科技大・同済医学院)

PS-25 核 DNA およびミトコンドリア DNA の塩基配列から推定される *Trichophyton* 属の系統関係について
○河崎昌子^{1,2}, 安澤数史¹, 望月 隆^{1,2}, 石崎 宏¹
(¹金沢医大・皮膚真菌 (ノバルティス), ²金沢医大・皮)

PS-26 LSUrDNA の D1/D2 領域の塩基配列による *Phialophora* 属菌の同定と分子系統
○橋爪藤子, 滝澤香代子, 西村和子, 福島和貴 (千葉大・真菌センター)

PS-27 Molecular typing of *Cryptococcus neoformans* by DNA microsatellite markers analyses
○Hanafy Ahmed¹, Katsu Masakazu², Iida Soji¹, Gonoi Tohru¹, Mikami Yuzuru¹
(¹RC-PFMT・Chiba Univ., ²The Rockefeller Univ. USA)

PS-28 臨床材料より分離された *Hormographiella* 属菌の系統解析
○三川 隆, 大澤宏充 (三菱化学ビーシーエル)

PS-29 温度勾配電気泳動法 (TGGE) の病原性酵母の種同定および株識別への応用 (1) *Candida* 属および関連酵母について
○鈴木基文¹, 浜野圭一², 西垣功一³
(¹理研・系統保存, ²埼玉バイオ・タイテック, ³埼玉大・工)

(ポスターセッション 5 16:30~17:05 PS-30~PS-36)

座 長：青木茂治（日本歯大・新潟・先端研）

加納 壘（日大・獣医臨床病理）

PS-30 *Candida albicans* におけるクオラムセンシングと形態変換

○長 環, 豊田美香, 上西秀則（福岡歯科大・感染生物学）

PS-31 *Cryptococcus neoformans* CnNIK1 の構造・機能解析

○清水公德¹, Drivinya Antra¹, 吉見 啓², 田中千尋², 川本 進¹

（¹千葉大・真菌センター, ²京大・院・農）

PS-32 *Candida albicans* の脂肪酸不飽和化酵素の解析

○根岸由美子^{1,2}, 梅山 隆³, 新見昌一³, 梶原 将¹, 村山琮明²

（¹東工大・大学院生命理工学研究科, ²北里大・北里生命研 & 大学院生命科学府・感染情報学, ³感染研・生物活性物質）

PS-33 *Arthroderma gypseum* のケラチナーゼ遺伝子について

○加納 壘¹, 山田 剛^{2,3}, 植村浩一^{2,3}, 山口英世^{2,3}, 渡辺晋一⁴, 長谷川篤彦¹

（¹日大・獣医臨床病理, ²帝京大・医真菌研, ³帝京大・ゲノムリサーチ研究センター, ⁴帝京大・医・皮）

PS-34 *Candida glabrata* における網羅的遺伝子機能解析を目的とした効率的な相同組換え誘導のための条件検討

○上野圭吾¹, 知花博治¹, 中山浩伸², 三上 襄¹

（¹千葉大・真菌センター, ²鈴鹿高専・生物応用）

PS-35 *Candida albicans* における接合型遺伝子 *MTL* の同型接合性と核相変換

○岩口伸一, 鈴木孝仁（奈良女大・理・生物科学）

PS-36 白癬菌形質転換系の開発

○山田 剛^{1,2}, 植村浩一^{1,2}, 内田勝久³, 山口英世^{1,2,3}, 安部 茂¹

（¹帝京大・医真菌研, ²帝京大・ゲノムリサーチ研究センター, ³帝京医真菌研究会）

(ポスターセッション 6 17:05~17:40 PS-37~PS-43)

座 長：宮川洋三（山梨大・生命科学）

鈴木基文（理研・系統保存）

PS-37 口腔から分離された *Candida albicans* の遺伝子多型について

○安澤数史¹, 河崎昌子^{1,2}, 田邊 洋², 望月 隆^{1,2}, 石崎 宏¹

（¹金沢医大・皮膚真菌（ノバルティス）, ²金沢医大・皮）

PS-38 *Cryptococcus neoformans* の laccase 遺伝子と血清型との相関およびメラニン産生について

○田中英一郎¹, 久和彰江², 仲村健二郎², Eric V. Virtudazo², 竹尾漢治², 青木茂治², 伊藤雅章¹（¹新潟大・医・皮, ²日本歯大・新潟・先端研）

- PS-39 *Candida albicans* 染色体 6 番における染色体シークエンスの Gap closing
○敷波久美子, 知花博治, 三上 襄 (千葉大・真菌センター)
- PS-40 *Candida albicans* *URA3* 遺伝子に隣接する *IRO1* 遺伝子変異株の構築と病原性試験
○知花博治, 宇野 潤, 三上 襄 (千葉大・真菌センター)
- PS-41 *Candida glabrata* 温度感受性変異株を用いた必須遺伝子群の探索
○河邊 亮, 原 貴彦, 富士原浩介, 守屋恵子, 宮川洋三 (山梨大・生命工学)
- PS-42 *Candida albicans* リン酸代謝の負の制御因子 *PHO85* の性状ー TET システムを用いた *in vitro* および *in vivo* 解析
○花田 零¹, 宇野 潤², 知花博治², 中山浩伸³, 宮川洋三¹
(¹山梨大・生命工学, ²千葉大・真菌センター, ³鈴鹿高専・生物応用化学)
- PS-43 *Candida glabrata* *PMI* 遺伝子座に位置する遺伝子群の必須性の評価
○中山浩伸¹, 長 環², 知花博治³
(¹鈴鹿高専・生物応用化学, ²福岡歯科大・感染生物学, ³千葉大・真菌センター)

(ポスターセッション 7 16:30~17:00 PS-44~PS-49)

座 長: 西村和子 (千葉大・真菌センター)
池田玲子 (明治薬大・微生物)

- PS-44 *Candida glabrata* に及ぼす micafungin の形態学的影響
○西山彌生^{1,2}, 蓮見弥生², 内田勝久³, 山口英世^{2,3}
(¹帝京大・医療技術, ²同・医真菌研, ³帝京医真菌研究会)
- PS-45 病原真菌電顕観察のための安全な凍結置換法
○山口正視, 大楠美佐子, 川本 進 (千葉大・真菌センター)
- PS-46 *Cryptococcus neoformans* に対する *Staphylococcus aureus* の付着と殺菌機構
○斉藤史人¹, 山口正視², 池田玲子¹
(¹明治薬大・微生物, ²千葉大・真菌センター)
- PS-47 菌種間相互作用における *Cryptococcus neoformans* 菌株の *Staphylococcus aureus* に対する感受性
○池田玲子, 斉藤史人 (明治薬大・微生物)
- PS-48 *Stachybotrys chartarum* による肺病変に関する研究
○落合恵理¹, 亀井克彦², 佐藤綾香², 渡辺 哲², 橋本佳江¹, 日暮浩実³
(¹千葉大・大学院・自然科学, ²同・真菌センター, ³同・大学院・加齢呼吸器)
- PS-49 我が国の洞窟環境のヒストプラスマ分布状況と洞窟探検家のヒストプラスマ症に関するアンケート調査
○菊池 賢¹, 杉田 隆², 楨村浩一³, 亀井克彦⁴
(¹東女医大・感染, ²明治薬大・微生物, ³帝京大・医真菌研, ⁴千葉大・真菌センター)

(ポスターセッション 8 17:00~17:30 PS-50~PS-55)

座 長：大野尚仁（東京薬大・薬・免疫）

佐野文子（千葉大・真菌センター）

- PS-50 樹状細胞レセプター Dectin-2 は自然免疫における真菌認識機構と IL-4 サイトカイン遺伝子発現に
関与する

○弓立達夫¹, 有泉清志²

(¹近畿大・堺・皮, ²テキサス大・皮)

- PS-51 各種 (1→3)- β -D- グルカン値測定法における非特異反応の出現に関する検討

○吉田耕一郎, 二木芳人, 毛利圭二, 岡三喜男（川崎医大・呼内）

- PS-52 熱解離曲線を利用した病原真菌 LAMP 増幅産物同定法の開発

○藤崎竜一¹, 植村浩一^{1,2}, 鈴木 渉¹, 山口英世^{1,2,3}, 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²帝京大・ゲノム解析, ³帝京医真菌研究会)

- PS-53 LAMP 法による患者喀痰からの *Paracoccidioides brasiliensis* 特異的遺伝子 *gp43* の検出

○佐野文子¹, E.N. Itano², 宇野 潤¹, 鎗田響子¹, 亀井克彦¹, 宮治 誠¹, 西村和子¹

(¹千葉大・真菌センター, ²ロンドリーナ大学・ブラジル)

- PS-54 気道内分泌物からの *Coccidioides immitis* 遺伝子検出の試み

○佐野文子, 亀井克彦, 日暮浩実, 西村和子（千葉大・真菌センター）

- PS-55 Pulsed-field gel electrophoresis as a convenient tool for typing of *Candida dubliniensis* strains

○Hamal Petr¹, Makimura Koichi¹, Ohshima Tomoko², Maeda Nobuko²,

Yamaguchi Hideyo¹, Abe Shigeru¹

(¹Teikyo Univ. Inst. Med. Mycol., ²Tsurumi Univ. Sch. Dent. Med.)

(ポスターセッション 9 16:30~17:00 PS-56~PS-61)

座 長：松本達二（東北薬科大・微生物）

杉田 隆（明治薬大・微生物）

- PS-56 マウスクリプトコッカス髄膜炎モデルに対する AMPH-B リポソーム製剤 (AmBisome) の *in vivo*
効果

○竹本浩司, 山本 寛, 上田 豊（住友製薬・研究本部・創薬二研）

- PS-57 植物精油の抗白癬菌活性に対する温度と食塩の効果

○井上重治¹, 内田勝久², 山口英世^{1,2}, 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²帝京医真菌研究会)

- PS-58 ディスク寒天拡散法による植物精油の抗白癬菌活性への蒸気の寄与

○井上重治¹, 内田勝久², 丸山奈保¹, 山口英世^{1,2}, 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²帝京医真菌研究会)

PS-59 マラセチアに対するケトコナゾールとタクロリムスの抗真菌効果

○杉田 隆¹, 田嶋磨美², 坪井良治², 西川朱實³

(¹明治薬大・微生物, ²東京医大・皮, ³明治薬大・免疫生物)

PS-60 バイオフィーム状態での各種遺伝子発現と形成阻害

○倉門早苗¹, 杉田 隆¹, 西川朱實²

(¹明治薬大・微生物, ²同・免疫生物)

PS-61 臨床症状を示す腔カンジダ症マウスモデル作成の試み

○滝沢登志雄¹, 山口英世², 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²帝京医真菌研究会)

(ポスターセッション 10 17:00~17:35 PS-62~PS-68)

座 長：福島和貴（千葉大・真菌センター）

渋谷和俊（東邦大・大森・病理）

PS-62 吸入ステロイド剤によるマウス咽頭カンジダ症

○胡 偉民¹, 石橋弘子¹, 渋谷和俊², 植村浩一¹, 山口英世¹, 安部 茂¹

(¹帝京大・医真菌研, ²東邦大・大森病・病理,)

PS-63 HIV 感染者の口腔 *Candida* と唾液抗菌タンパク濃度との関係

○浪越智子¹, 大島朋子², 千葉博茂¹, 前田伸子²

(¹東京医大・口外, ²鶴見大・細菌)

PS-64 中国の上顎洞炎患者から分離された子の菌類について

○堀江義一¹, 矢口貴志², Paride Abliz³, Yuxin Wang⁴, Ruoyu Li⁵, 西村和子²

(¹千葉県立中央博, ²千葉大・真菌センター, ³中国・新疆医大・皮, ⁴中国・北京同仁病院, ⁵中国・北京大第一医院)

PS-65 本邦動物園飼育下のコアラから分離されたクリプトコックス症起因菌の真菌学的諸性状

○菅又美穂^{1,2}, 渋谷和俊¹, 植村浩一², 西山彌生², 安部 茂², 内田勝久³, 山口英世^{2,3}

(¹東邦大・大森病・病理, ²帝京大・医真菌研, ³帝京医真菌研究会)

PS-66 動物園飼育下のコアラから分離されたクリプトコックス症起因菌のマウスに対する病原性の比較

○菅又美穂^{1,2}, 渋谷和俊¹, 植村浩一², 安部 茂², 内田勝久³, 山口英世^{2,3}

(¹東邦大・大森病・病理, ²帝京大・医真菌研, ³帝京医真菌研究会)

PS-67 分子生物学的真菌定量法の開発

○竹内保雄¹, 安枝 浩¹, 齋藤明美¹, 秋山一男¹, 植村浩一², 山口英世²

(¹国立病院機構相模原病院・臨研センター, ²帝京大・医真菌研)

PS-68 病原性放線菌 *Nocardia farcinica* IFM 10152 株の生産する病原性因子シデロフォアについて

○星野泰隆¹, 向井 啓¹, 矢沢勝清¹, 宇野 潤¹, 深井俊夫², 石川 淳³, 三上 襄¹

(¹千葉大・真菌センター, ²東邦大・薬学, ³感染研・生物活性)